

伝説怪獣の里

市長職に就いて6年半、多くの人と接してきました。在庁時は市内外のみならずが市長室に。中でも一番うれしいお客様が、地域学習などでやってくる市内の児童たち。小学4年生のころだったか、私も同じように見学で訪ねた当時の塩沢町役場を今でも鮮明に覚えています。級友たちと庁舎の屋上で当時の我田大作^{ただたく}市長の話聞き、一緒に眼下の街や遠い山々を眺め、なんとなく大人になったような気がしたものです。

今、私ができる限り市長室に彼らを招くのは、あの思い出が重なるからで、短い時間ながらいろいろな話を。市役所初訪問、みんながよく調べてきていて質問もたくさん。別れ際にいつも私から「市長の椅子に座ってみる？」大はしゃぎしてくれるのが本当にうれしい。元気な一番乗りの子に「未来の市長決定！」と言うと困った顔をして「でも、僕はサッカー選手になりたいから」と本音が出たり、「女性市長もー」とか。

市の紹介用にさまざまなものを室内に飾っていますが、多くの子の目に留まるのがウルトラマンのミニチュア。「なんですか？」意外そうな彼らに隣にいる怪獣を

指さして「この怪獣は南魚沼市に眠っているんだけど、知ってる？」当然、誰も知らない。

テレビ放映開始は私が生まれた前年の昭和41年で、あのビートルズ来日の年。今も色褪せず、シリーズは続いています。初代は57年前。バルタン星人などと並んで有名な「ウー」は石打で撮影された。雪男風に見えるが、実は幼い娘を残し^{あきせ}早逝した母親が、その子がいじめられると守るために化身として山から現れる。スキーに来ていたウルトラ警備隊、怪獣出現でハヤタ隊員が変身し、スキー場で大格闘。最後はお決まりのスペシウム光線！その刹那、彼は荒れ狂う怪獣が母なのだど気付く。ウルトラ史上初だったと思うが、必殺技で倒さず「山に帰れ」と手で促し、娘の呼びかけにも応えて、「ウー」は静かに山に消えていくというお話。

「今も飯士山にこの怪獣は眠っているんだよ」真剣に聞いてくれる彼らの心はどう響くかはわからないが、こちらは「弱いものいじめはいけない」という思いも持っています。いつか子どもたちの広場などに伝説怪獣の由来を刻んだ実話のような石碑を建ててみたいが。

国際大学留学生 お国自慢コーナー ~boast of my country~

ラオス人民民主共和国

スサダー ケオマンー さん

シリーズ
第124回

私の国はこんなところ

ラオスは東南アジアの国です。丘陵地帯の景観、フランス植民地時代の建物、山岳民族、仏教僧院で有名です。首都ビエンチャンは、仏陀の胸骨が納められているとされるタート・ルアン寺院やパトゥーサイ内戦犠牲者慰霊碑があります。メコン川が国土を縦断し、山々や大河が織りなす自然美とともに、古都ルアン・パバーン、ジャールの平原、ワット・プー遺跡の3つの世界遺産があります。また、伝統的な竹管楽器ケーンはそのハーモニーの豊かさから国民に親しまれ、生活の一部として家族や社会のきずなを深めています。村の祭りや特別な行事などにも必ず用います。

南魚沼市に住んで感じたこと

南魚沼は、南国育ちの私にとって特に冬と雪が一番好きな季節です。初めてこの地域に来たときはこの寒い天候に順応するのに苦労しましたが、周辺を歩いて、雪や冬の美しさを楽しむことに価値があると思うようになりました。雪景色は白くとても美しいですね。ただ雪を踏みしめることでさえ、平和で幸せだと感じました。スキーやスノーボード体験も印象深い思い出です。

編集
後記

7月から市内各所で花火が打ち上げられています。さまざまな色の花火が夜空を輝かせ、打ち上がるたびに「どーん」と体に響く音が心地よく感じられました。

8月以降も花火が予定されていますので、夏の夜空を彩る花火を楽しんでみてはいかがでしょうか。(N. K)

今月の
表紙

7月2日(日)、中之島小学校を主会場に南魚沼市民総合防災訓練が行われました。児童らは避難訓練のほか初期消火体験など、参加型の体験や講習に真剣に話を聞き、楽しみながら防災について学びました。

市民の動き 令和5年6月末日現在 ()は対前月比

●人口 53,404人(-218) / 男 26,142人(-106) 女 27,262人(-112) ●世帯数 20,179戸(-138)